

CASBEE 広島 2016年版		■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版							
ザ・パークハウス 牛田本町 ほおずき通り 新築工事		欄に数値またはコメントを記入		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)					
スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境						0.40	-	-	3.4
1 音環境					3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.5	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		コンクリート壁厚180mm D-50			-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		スラブ厚250mm			-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.7	0.35	4.0	1.00	3.5
2.1 室温制御					3.6	0.50	4.0	1.00	
1 室温		共用部に空調機を設置			4.0	0.65	-	-	
2 外皮性能		住宅性能基準断熱等級4相当			3.0	0.35	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.4	0.25	3.8	1.00	3.3
3.1 昼光利用					2.0	0.35	4.6	0.50	
1 昼光率		2.5%以上			1.0	0.45	5.0	0.50	
2 方位別開口		南、東面に開口部有り			-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.55	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.23	3.0	0.50	
1 昼光制御					2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.11	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.31	-	-	
4 空気質環境					3.4	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策					4.0	0.58	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		建築材料(F☆☆☆☆)を全面的に採用			4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.38	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					1.0	0.05	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.4	0.40	3.6	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		100Mbitを整備			-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画		エントランスなど意匠性に考慮した設計			4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		メンテナンスしやすい機能を確保している			4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3			5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		磁器質タイル			4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数20年以上			4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:B、雑排水:B			4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.07	3.6	0.50	
1 階高のゆとり	階高2910		5.0	1.00	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.07	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.85	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	周辺からの眺望を意識した配置計画		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	駐車台数の確保		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能基準断熱等級4相当		3.2	0.20	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.89		3.6	0.50	-	-	3.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型の水栓を採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	外装材:タイル、内装材:パーティクルボード		4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP:0、GWP:1以下の断熱材採用		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が少ない		5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しない		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制	自転車置場、駐車場の確保		5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインに従った照明計画を行う。		5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	